

常任指揮者: ティエリー・フィッシャー

名フィル
Nagoya Philharmonic Orchestra since 1966

THIERRY FISCHER
Nagoya Philharmonic Orchestra
CHIEF CONDUCTOR



【指揮】マーティン・ブラビンス
Conductor: Martyn BRABBINS



【ヴァイオリン】ジェニファー・パイク*
Violin: Jennifer PIKE*

Photo: Tom Bangala

名古屋フィルハーモニー交響楽団

第373回 定期演奏会

2010.4-2011.3シーズン
〈「都市と音楽」シリーズ〉
ロンドン

Nagoya Philharmonic Orchestra The 373rd Subscription Concert
2010.4-2011.3 Season 'London' from "City and Music Series"

2010 **10.22**(金) **10.23**(土)
6:45pm開演 4:00pm開演
(6:00pm開場) (3:15pm開場)
Oct. 22 (Fri.) 6:45pm Oct. 23 (Sat.) 4:00pm

愛知県芸術劇場コンサートホール
Aichi Prefectural Art Theater Concert Hall

2010
名古屋
開府
400年
ハ

チマローザ: 歌劇『ロンドンのイタリア女』序曲
D. Cimarosa: "L'italiana in Londra" Overture

メンデルスゾーン: ヴァイオリン協奏曲ホ短調 作品64*
F. Mendelssohn: Violin Concerto in E minor, Op.64*

ヴォーン・ウィリアムズ: ロンドン交響曲 (交響曲第2番)
R. Vaughan Williams: A London Symphony [Symphony No.2]

平成22年度文化芸術振興費補助金 (芸術創造活動特別推進事業) 特別協賛: サンゲツ

1回券料金 (税込)

S席 ¥6,000 A席 ¥5,000 B席 ¥4,000
C席 ¥3,000 D席 ~~¥2,000~~ 完売
Y席 ¥1,000 (24歳以下対象、当日窓口販売のみ)

1回券発売日

2010年7月28日 (水)

割引

いきいき割引 / S~D席を20%割引
65歳以上、障害者手帳をお持ちの方 (介添人1名様まで可) 対象
ユース割引 / S~D席を20%割引
24歳以下の方 (学生・社会人を問いません) 対象
※大学生協でも取扱
車椅子席 / A席を20%割引 (¥4,000) ※要事前予約

チケットお申込み・お問合せ

名フィル・チケットガイド
Tel.052-339-5666

http://www.nagoya-phil.or.jp/ 名フィル 検索

主催: 財団法人名古屋フィルハーモニー交響楽団
後援: 愛知県・愛知県教育委員会・名古屋市・名古屋市教育委員会・財団法人名古屋市文化振興事業団・朝日新聞社・メーテレ

≡ Biography ≡

指揮

マーティン・ブラビンス

Conductor
Martyn BRABBINS

2009年9月からロイヤル・フランダース・フィルの首席客演指揮者を務めている俊英指揮者。2005-07年チェルトナム国際音楽祭の音楽監督、1994-2005年にはBBCスコティッシュ響の副首席指揮者を務めた。

ロンドン、レニングラードで指揮法を学び、イリヤ・ムーシンに師事。

1988年リーズ指揮者コンクールで優勝しキャリアをスタート。以来、英国の主要オーケストラをはじめ、ヨーロッパを中心に指揮活動を行なっている。

最近のオーケストラとの共演としては、2008-09シーズンに東京都響と共演して東京デビューを果たしているほか、ネザーランド放送室内フィルでは名高いマチネー・シリーズに出演。さらにハーグ・レジデンティ管、ザルツブルク・モーツァルテウム管、ラハティ響に客演。特に英国ではバーミンガム市響、ハレ管、BBCフィルへの客演に加え、ロンドン・フィルとフィルハーモニア管のサウスバンク・センター定期に出演したほか、BBC響とBBCスコティッシュ響の定期に出演。BBCプロムスにも常連となっている。

名フィルには2008年10月定期で初登場し、ハイドンやアデス、バルトーク作品を指揮。誠実な指揮と高い音楽性が、聴衆・評論家はもちろん楽員からも高い評価を受けている。

Photo: Sasha Gusov



ヴァイオリン

ジェニファー・パイク

Violin
Jennifer PIKE

2002年、12歳で史上最年少のBBCヤング・ミュージシャン・オブ・ザ・イヤーに輝き、サー・アンドリュー・デイヴィス指揮／BBC響とメンデルスゾーン「ヴァイオリン協奏曲」で共演。2008年に英国の人気アート番組「サウスバンク・ショー」にて、2007年の音楽界に与えたインパクトを考慮して「タイムス・ブレイクスルー・アワード」を受賞。また2009年に第1回ロンドン・ミュージック・マスターズも受賞している。

2008-10シーズンにはBBCニュー・ジェネレーション・アーティストとして、英国のメジャー・オーケストラと共演を重ねつつ、英国をはじめヨーロッパ、中東、米国でリサイタルを開催。15歳でBBCプロムスにデビューし、ロイヤル・アルバート・ホールとパーセル・ルームでの演奏は大成功を収めて評判となった。

シャンドス・レーベルと3年間のレコーディング契約を結び、同レーベルとの初録音にはミクローシュ・ローザ「ヴァイオリン協奏曲」と「ハンガリー民謡の主題による変奏曲」をBBCフィルと2009年にレコーディング。

1998年チェルトナムの音楽学校に学び、その後ギルドホール音楽院でデイヴィッド・タケノに師事。2009年、オックスフォード大学に進学している。



<「都市と音楽」シリーズ>聴きどころ 第373回定期演奏会 「ロンドン」

池田 卓夫(日本経済新聞社文化部編集委員)

「ロンドン」を語るにふさわしいゲスト、曲目が選ばれた。指揮のマーティン・ブラビンスは今こそベルギーのロイヤル・フランダース・フィルの首席客演指揮者だが、ロンドンで指揮法を学び、リーズの国際コンクールで優勝(1988年)後、BBCスコティッシュ響の指揮者やチェルトナム音楽祭の監督を歴任するなど、英国を代表する俊英音楽家としてのキャリアを積んできた。20世紀の埋もれた作品の録音にも熱心で、BBCウェールズに拠点を持つティエリー・フィッシャーに重なる点も多い。演奏会の幕をイタリアのチマローザの歌劇『ロンドンのイタリア女』序曲で開け、英国のヴォーン・ウィリアムズの「ロンドン交響曲」(交響曲第2番)で閉める構成にも、指揮者の音楽性はうかがえる。メンデルスゾーン「ヴァイオリン協奏曲」には1990年生まれの英国の若手、ジェニファー・パイクが招かれた。名フィルと初共演の才媛はセッションを巻き起こすだろう。

その他のチケット取扱

チケットぴあ(Pコード:111-668).....0570-02-9999
愛知芸術文化センター内プレイガイド...052-972-0430
ナディアパークプレイガイド.....052-265-2015
市内主要プレイガイド、大学生協でも取扱

託児サービス 1名様¥1,000

未就学児童(満1歳以上)対象、要事前予約
お申込み:ポピンスサービス名古屋
Tel. 052-541-2100
(演奏会の3日前(土・日・祝をのぞく)まで受付)

※未就学児童のご入場は、保護者同伴の場合でもご遠慮ください。
※お申込みいただいたチケットのキャンセル・変更は受付いたしません。
※やむを得ぬ事情によって、出演者・曲目などを変更する場合がございます。
あらかじめご了承ください。

本紙は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。



愛知県芸術劇場 コンサートホール

〒461-8525 名古屋市東区東桜1-13-2
愛知芸術文化センター4F

地下鉄東山線・名城線「栄」駅より徒歩2分
名鉄瀬戸線「栄町」駅より徒歩2分

<http://www.aac.pref.aichi.jp/>